

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市鶴巻児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘	
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 18,073人(前年度比 113.1%) ・令和3年度 15,986人 ・令和2年度 17,418人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 42,947千円 (45,198千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「児童厚生員の倫理 コンプライアンス」を整備し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。	20/19

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>地域の協力を得ながら子どもと地域が繋がる行事を企画し、地域と共に成長する児童館を運営することができました。また、子どもの社会参画、自己実現を図る事業にも多く取組み、主体的に参加する姿勢を育むことができました。</p> <p>●児童健全育成事業 4年生から中学生までの子どもボランティアを募り、館の主催行事「こどものまち」の企画運営や自主企画「鶴巻大喜利グランプリ」の実施、児童館行事の補助など行い、地域のリーダー育成を目的に活動しました。また、今年で結成13年目となる子ども劇団「わんにゃんぼう」は、詩人武田こうじ氏に脚本と演出をお願いし、3年振りに有観客で発表することができ、対面で発表する緊張感やお客さんからの温かい拍手に包まれる体験を味わうことができました。</p> <p>●子育て家庭支援事業 「ほっとサロン」は講師を迎え、子育てママ向けのヨガや保健師さんと気軽に話せる機会を作り、ほっとできる時間を提供することができました。また、「らららんぼけっと」では民生委員さんによるふれあい遊びや、読書アドバイザーによる絵本の読み聞かせなどを行い、親子で遊ぶ楽しさを伝えることができました。</p> <p>●地域交流推進事業 「つるまき！トリックオアトリート！」では、保護者や地域の方に引率や交通安全指導にご協力頂きながら3年振りに仮装をして、地域の店舗や施設への訪問する形を取ることができました。久しぶりの訪問に地域の方も嬉しそうなお表情を浮かべていました。</p> <p>●放課後健全育成事業 引き続き基本的な感染症対策を行いながら、コロナ禍でもできることを模索し、子どもたち主体でクリスマス会の企画運営をお願いするなど、仲間と協力して作り上げる体験や、自己実現の楽しさを経験できるようサポートを行いました。また、放課後の時間を子ども達が落ち着いて過ごすことができるよう、職員のスキルを活かし充実した時間になるように工夫することができました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、小中高生向けの毎月定例行事を土曜日に開催して、来館のきっかけ作りや異年齢交流の場作りに努めている。「たいやきくんとあそぼう」では、自由来館児の参加もあり、ボードゲームを通していろいろな友達と遊ぶ楽しさや、創造や表現の楽しさを感じられるように支援し、社会性や創造性を育てている。「つくってあそぼう」は、いろいろな素材や画材を準備し、日常の遊びをバージョンアップして幅広いものつくりの場を提供している。作品作りを通して友達と一緒に作る楽しさや、じっくり取り組む中で想像や創造の楽しさを十分に感じられるように支援し、豊かな感性を育てている。コロナ禍でも途切れないよう工夫しながら継続に努めてきた、「こどものまち」「わんにゃんぼう」「ハロウィン」は令和4年度は地域の方を招いて再開し、子ども達が異年齢の友達や地域の方と関わる貴重な経験の機会、保護者や地域の方に児童館事業や子ども達を知ってもらう機会ともなった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、幼児クラブ「とんとん」は、水遊びグッズをつくろう・つくってあそぼう・ねんどであそぼう等、普段できないような体験型の内容で実施し好評を得ている。保護者からの子育てに関する相談も多く、必要に応じて関係機関と連携を図ったり保護者同士が情報共有をできるように支援する等、安心して子育てができる環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業では、「みんなであそぼう」で、地域住民や企業の協力を得て、テニスの体験会やネイチャークラブの竹細工等体験型の行事を開催して地域の方との交流を図った。これらの活動を通して、様々なところで子ども達への見守りの目が生まれ、地域の中で過ごす子ども達の安心安全に繋がっている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、ドッジボールやげんぺい、王様陣取りなど、集団遊びを十分に楽しめる環境を整え、遊びに際してのルールを子ども達で決められるよう、場と時間を保障したりコマやけん玉など自分達で目標を決めて楽しめる遊びを提供し、日常の遊びを通して主体的に活動できる環境を整えている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課